

おはようございます。
長崎大学人、河野茂です。

私の世代は、第二次世界大戦後に生まれたベビーブーマー、いわゆる団塊の世代と呼ばれます。

私の大学生時代には『戦争を知らない子供たち』という歌が大ヒットしました。当時はベトナム戦争があり、この歌には様々な意味が含まれており、大きな論争になりました。大学生の私は、生まれてからそれまで日本で戦争が起こってないことは、とても幸せなことだと思っていました。

大学時代、テニスに夢中なり、友と遅くまで語りあい、一生懸命勉強できたのも、戦争がなかったおかげです。

『戦争を知らない子供たち』であり、幸せでした。

私の両親の世代は、それができませんでした。

学びたくても学べず、戦地へ、あるいは軍需工場で働かなければなりませんでした。

勉強できた私たちは、幸せでした。

そして、今、君たちも幸せです。

入学式でも話しましたが、長崎大学は、第二次世界大戦、1945年8月9日11時2分に、原子爆弾に被災し、979名の教職員と学生が亡くなりました。

そして、そのあとに、文字通り血のにじむような復興の努力があり、そのおかげで私たちは学びつづけています。

当時の記録は、『追憶』?長崎医科大学原子爆弾犠牲者の霊に捧ぐ?に、ありますので、ぜひ、読んでみてください。

当時、君たちと同じ年齢の学生だった方の記録もあります。

<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/abcenter/tsuioku/>

<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/abcenter/tsuioku/data/Reminiscences.pdf>

<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/abcenter/shirabe/index.html>

<https://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/hibaku75/event/kinenshi.html>

今、ご存じのように、ウクライナとロシアの間で、戦争が起こっています。
君たちと同年代の方が、両方の国の兵士として戦っています。

民間人の被害も想像を超えるものがあるようです。

原子爆弾まで使用するのではないかという情報も飛び交っています。

正気の沙汰ではありません。

学べる幸せな『戦争を知らない子供たち』である私たち、長崎に住み長崎大学で学んでいる私たちは、この戦争について、学ぶ必要があり、また学ばなければなりません。

なぜならば、君の友が、家族が、あるいは、君自身が、戦争に巻き込まれる可能性は、今、ゼロではないからです。

そして、戦争の可能性を限りなくゼロに近づけるためには、人間についても学ぶ必要があります。

先人たちの想いを受け継ぐためにも。

3回にわたり、現在起きている戦争等について詳しい、専門の先生のメールを配信いたします。

さあ、一緒に、今起きていることを学びましょう。

「ウクライナを知るための65章」明石書店もいい参考書になります。